

Challenge 2007

キーゴール

データベースの活用を最優先事項に 企業から消費者まで独自ITサービスを

中小企業のIT化の多くを見てみる。専任の担当者が置けず、何から手を付ければ良いか分からず「二の足を踏むケースが多い。しかし、ビジネスの発展のためにIT化は重要な要素でもある。そこで、データベースを上手く整理し活用することを最優先事項として提案し、実績を上げていく企業を取材した。

株式会社キーゴールは上流工程の受託開発を志向したシステムインテグレーター企業だ。一方で、データベースに関わるソリューションで評価を得ている。

五嶋和彦社長は次のように話す。「データは売るための金脈です。それなら、これから伸びる中小企業こそ着目すべきです」

例えば、「ORGAST」というソリューションがある。これは、米国オラクル社のデータベース管理システムを基にしたサービス。データベースの効率的活用のため、コンサルから導入したシステムのチューニング、さらに再構築までを企業の状況に合わせてサポートする。

「保険会社の実績を顕著に、飛躍的な効果を上げています」という五嶋社長。蓄積した技術と独自のノウハウから、社員が著者のオラクルに関する本が3種類出版されるほどになった。

オリジナルのパッケージ商品も提供できるようになっている。その1つが「VFMS」。ベンチャーキャピタル向けのファン

ド管理システムだ。すでに有力企業14社に導入されている。また、「SIMS」という少額短期保険事業者向けのデータベース管理システムもある。これらのパッケージ商品の中では、独自ツール「point Get」が活用される。データベースの様々な形式のデータを、表計算ソフト「Excel」のデータに特別な作業無しに集約することを可能にしたツールだ。

「キーゴール」に向けて

その他に、アンケートや投票、ニュースなどのWEBサイト上のデータベースを管理するソフトウェアも提供している。

そもそも、五嶋社長はITコーディネーターの資格を持つ人物。様々な企業のIT環境を見てきた中で、データベースの活



五嶋 和彦 社長



「2out」<http://2out.net>

用の必要性を確信したという。「企業の『キーゴール』、最重の目標を定める。そこへの指標がデータベースなので、上手に利用しなければなりません」

こうした企業向けノウハウを応用し、消費者向けインターネットサービスにも携わっている。「2out」というサイトがある。FAXの送信だけで草野球の成績管理をし、チームを格付け可能。実力が均衡したチーム同士で試合ができる仕組みを提供した。

また、「pet宿.com」というペットと泊まれる宿の情報サイトのシステム構築にも関わっている。

データベースをキーワードに、経営とITの両面の視点から価値を生む同社。その活躍の場はさらに広がりそうだ。

東京都渋谷区代々木1-54-1

03-5350-3530

<http://kg-i.jp>

Consultation コンサルテーション事業

- 経営コンサルティング
- ITコンサルティング

Integration インテグレーション事業

- 1 設計と開発
- 2 導入と移行
- 3 運用と管理
- 4 診断と保守
- 5 プロジェクトサポート

Solution ソリューション事業

- pointGet
- VFMS (ベンチャーファンド管理システム)
- SIMS (少額短期保険管理パッケージシステム)
- Keygoal Web Content Manager (WEBコンテンツ管理ソフト)

Contents コンテンツ事業

- 「2out」
- 「pet宿.com」

同社のビジネスフロー